

# 卒後2年目事例検討研修

－実践につながる事例検討－

2024.9.9-9.10

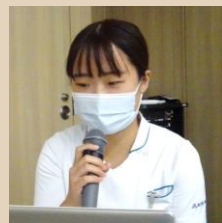
卒後2年目看護職員が事例検討研修を受講しました。「心に残っている場面」についてグループワークを行い、看護の知識に基づく視点から分析し、患者理解を深めていました。



グループメンバーは異なる部署で構成されており、それぞれの部署で経験したことや学んだことを踏まえながら、活発な意見交換をしていました。また、自分が大切にしている看護を表現したり、お互いの良い看護を認め合う様子もみられていました。



全体会では、グループ毎に1つの事例を選択し、発表しました。失語症や認知症により言葉で表現することが難しい患者との関わりや、セルフケア獲得に向けた看護介入など、事例検討により多くの看護の方策や学び、気づきが得られていました。



## 自分が大切にしている看護観

- 患者と看護師は人対人であることを忘れないこと
- 患者の強みや価値観を尊重し寄り添うこと
- その人らしさを活かす看護
- 患者と同じ目標を持ってケアをすること